

## 若松台小学校の学校適正規模・適正配置に係る地元説明会 議事要旨

1 日 時 令和8年2月14日(土) 午後1時30分～午後3時00分

2 場 所 若松台小学校 体育館

3 出席者 23名



### 4 教育委員会挨拶(企画課長)

日頃より本市教育行政に対し、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度、若松台小学校の全校児童数は100名を下回り、今後もさらなる児童数の減少が見込まれている。教育委員会としては、若松台小学校の学校規模が小さくなっていることについて、子どもたちのより良い教育環境を整えるという観点において、また日々の教育の質を充実させるという観点において様々な課題があると認識している。そこで、令和5年度より、児童数の見通しや学校規模の課題などについて各種説明会や意見交換会などを開催し、保護者や地域の皆様に情報提供等をおこなってきた。

現在、地域団体の代表者で構成されている地元代表協議会において、教育委員会から提案させていただいた学校適正配置(案)「若松台小学校と若松小学校を令和9年4月に統合する」という案について協議が進められているところである。

先月開催された第3回地元代表協議会では、これまでの協議の論点及び留意点を踏まえた協議が行われ、その結果、「学校適正配置(案)を選択しない」という概ねの方向性が確認された。一方で、今後の若松台小学校の児童数のさらなる減少を踏まえると、将来的な統合は避けられないと言ったご意見も協議会で示されるなど、各団体の委員の皆様には真摯にご議論いただいている。協議会の委員の皆様には、協議結果を持ち帰り、可能な範囲で各団体のご意向を確認し、3月3日に開催予定の第4回地元代表協議会において最終的な結論が出される見込みである。

学校適正配置(案)を選択する、また、学校適正配置(案)を選択しない、そのどちらも、この若松台地域にとって、さらには地域の子供たちにとって、大切な決断となる。このあと、担当よりこれまでの詳細について説明させていただくが、本日までご参加いただいた皆様におかれましては、若松台小学校の学校適正規模・適正配置に係る取組みについてご理解を深めていただけたら幸いである。

### 5 教育委員会企画課職員の紹介

企画課長 課長補佐 主任管理主事 管理主事(2名) 主任主事 計6名

### 6 説明(教育委員会)

(1) 若松台小の現状と今後について

(2) 学校適正配置(案)について

(3) 地元代表協議会における協議について

事務局から資料に基づき、上記について説明

### 7 質疑応答

質問1:直近で統合した学校はどこなのか。その時は地元代表協議会でどの程度協議が行われたのか。千城台地区の統合の際には9年近くかかっていたと記憶している。若松台小学校はかなりスピーディーに進んでいるように感じる。

**企画課**：直近の統合は花見川第三小学校及び花島小学校の統合である。地元代表協議会の設置から要望書の提出（統合の決定）までおよそ半年間の期間である。花見川の事例や本地区の事例は小学校2校のみが実質的な対象であるが、千城台地区の事例は対象校数が相当に多いことや取組みの進め方も異なるなど単純に比較することはできない。いずれにしても、取組みの期間は地区によって様々である。

意見1：地元住民から見た統合のメリットを示してほしい。

**企画課**：教育委員会としては、「適正規模の学校、良好な教育環境の学校へ子どもを通わせることができる地域」となることこそが、メリットとなると考える。

意見2：LD教室や養護教育センターの分室を若松台小学校に誘致するなど、学校が残るようなアイデアをだしてほしい。

**企画課**：現時点で考えていない。

→学校適正配置の目的である「より良い教育環境の整備」と「教育の質の向上」のためには、学年の児童数や学級数を増加させ適正な規模とすることが肝要である。なお、学校適正配置は、学校を存続することも、廃止することも目的としていない。

質問2：空き家の発生率等を使った人口の推計は算定しているのか。小学校があれば、空き家の建て替えて新しい世帯が入ってくる、児童が増えることも見込めると思う。

**企画課**：教育委員会においては、空き家の調査は行っていない。しかしながら、児童数の推計において、一定の宅地開発がある仮定の算出もしているが、減少幅は緩和するものの、減少の傾向は変わらない。また、市全体の話になるが、直近3ヵ年の平均で小学生は毎年800人程度減っている。この傾向も踏まえると若松台地域においても同様に減少すると考えるのが自然である。

質問3：第3回地元代表協議会において、「保護者の意見（統合反対）を重視するべき」として確認されたとのことだが、第4回目でこれが決定された場合、地元代表協議会は解散になるのか。また、統合がなくなった場合は統合準備期間における2校の交流はなくなるようだが、継続的に交流を行った方が若松小学校の雰囲気に触れる機会が多くなっていいのではないか。

**企画課**：今後、協議が必要ないとされた場合には次回の協議会をもって解散となる可能性はある。しかしながら、教育委員会としては、今後も若松台小学校の状況を注視しながら関わっていく必要があると考えている。学校同士の交流については、少なくとも将来的な統合を見据えて交流を設けるようなことはない。通常の教育活動における近隣校との交流については、学校がその時々の子どもたちの状況を踏まえて判断していくことになる。本日、そのようなご意見があったことは学校に伝えておく。

意見3：多様な事由での学区外通学を認めてほしい。また、教育委員会だけでなく、様々な立場の所管が様々な角度から考えてほしい。

**企画課**：ご意見は各所管に伝えていく。

意見3：統合するのであれば、道路整備はしっかりと行ってほしい。交通量が増えて危険な箇所がある。

**企画課**：情報として共有させていただく。

## 8 連絡事項等

(担当)

本日は、お時間をいただき感謝申し上げます。3月3日(火)に開催される、第4回地元代表協議会に向け、本日の説明会の内容を整理し、協議会に提供させていただく。本日の議事内容については、要旨としてまとめ、教育委員会企画課のホームページを通してお知らせする。ご不明点等があれば、教育委員会企画課まで問合せ願いたい。